

主 文

本件上告を棄却する。

当審における訴訟費用は被告人の負担とする。

理 由

被告人本人並びに弁護士寺迫忠之の各上告趣意について。

所論は、いずれも事実誤認の主張であつて、刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。

また記録を精査しても同四一條を適用すべきものとは認められない。

よつて同四一條、三八六条一項三号、一八一條により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年十一月八日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	斎	藤	悠	輔
裁判官	沢	田	竹	治 郎
裁判官	真	野		毅
裁判官	岩	松	三	郎